

## 平成28年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	多久市立西溪小学校（小中一貫校東原庁舎西溪校）		
2 所在地	多久市多久町1784番地1		
3 校長名	吉崎 泰		
4 学級数 児童生徒数	8 学級 175 人	5 実施学年 児童生徒数	4 年 32 人

### 6 取組のねらい

障害者支援センター『まや』（多久市南多久町下多久6103-2）を訪問し、当施設で働いている職員に話を聞いたり、施設の様子や入所者が活動している様子を見学したりする活動を通して、当施設の設立のねらいを知ると共に、働いている職員や入所者の思いに気づかせる。

### 7 取組の実際

#### （1）職員から施設の概要について話を聞く

当施設で運営に携わりながら働いている職員から施設の概要などについて説明を聞いた。その後、児童から職員へ、施設の事で疑問に思った事を質問形式にして答えて頂いた。施設の仕事や地域との交流について、子ども達にわかるように説明して頂いた。



#### （2）入所者が働いている様子を見学

◇ 『まや』では、自家生産のトマトを使って、クッキーやケーキを作り販売されている。児童は、調理室で指導を受けながらクッキーを焼いている入所者の様子を見学した。実際に焼きあがったばかりのクッキーを見て『うわあー、おいしそう！』と笑顔で感想を漏らしていた。トマトは長期間の保存がきかないため、ドライ加工をして保存をするなど様々な工夫がなされていることに驚いていた。



#### （3）施設の見学

◇ 自家栽培されているトマトの育成ハウスを見学した。厳しい管理がなされており、ハウスの中に入ることはできなかったが、温度管理や灌水管理など最新の技術を使って管理されている様子を見学し、疑問に思った事などを職員に質問した。

◇ 子ども達は、生産したトマトを収納するための箱作りを体験した。職員から作り方の手ほどきを受け、段ボール製の収納箱を互いに教え合いながら作っていった。

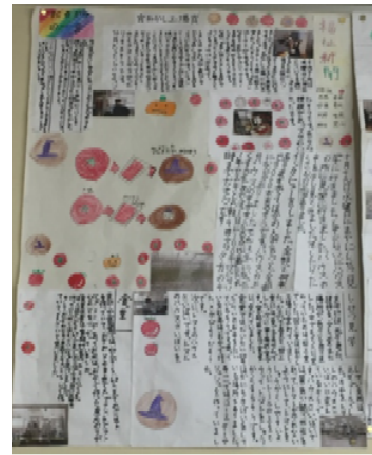


た。全員が、完成させることができ、満足の様子だった。見学の最後に、代表の子どもが職員への見学させて頂いた御礼を述べた。職員からは「『まや』を見学してもらい、入所者の働いている様子や思いを知ってもらってよかった。また来てほしい。」との言葉を頂いた。



#### (4) まとめ学習 新聞作り

まとめ学習として、『まや』について学んだことをグループで協力して、壁新聞にまとめた。見学して分かったことや福祉について考えを深めたことなど、子ども達は、互いの学びを共有しながらまとめることができた。また、まとめた新聞を使ってグループの発表も行った。子ども達は自信を持って発表し、疑問に思った事などについて質問することができた。



#### <児童の感想>

- ◎ぼくたちは、福祉について調べていて、まやに行くのを楽しみにしていました。まやに行ったら、前に行ったしみず園とは施設がちがっていることがわかりました。みんなしょうがいをもっていても笑顔いっぱいでした。
- ◎トマトはまだ緑色で収穫できなくて残念でした。トマトを食べてみたかったです。でも、段ボール箱をうまく作れたのでうれしかったです。
- ◎まやは、元南部小の建物を使っています。残った南部小の建物を必要なしせつにするのは、とても良いことだと思います。
- ◎私は、まやの施設見学と福祉について調べる勉強が、これからのことに役に立ちそうです。

## 8 取組の成果と課題

### (1) 成果

子ども達に福祉について学ばせる学習を仕組んできた。前回訪問した『しみず園』と今回訪問した『まや』では、施設設立のねらいも入所している人達の実態も異なっている。子ども達は、それぞれの施設の特徴について学び、働いている職員や入所者の思いに触れることができた。今回の学習を通して学んだことを、これからの生活に生かし自分にできることをやってみたいと感想をもてた子どももいた。

### (2) 課題

『しみず園』と『まや』の学習を通して育ててきた福祉についての視点を、今後の実生活の中でも継続して育てていけるように、日々子ども達への声かけを絶やさず、折りに触れて考えさせるようにしていきたい。